| 科目ナンバリング | U-LAS52 10003 LJ22 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 博物館教育論<br>Museum Education : Concept and Practice | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 総合博物館　教授　　本川　雅治<br>総合博物館　准教授　佐々木　智彦 | | |
| 群 | キャリア形成科目群 | 分野(分類) | 学芸員課程 | | 使用言語 | 日本語 | |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・前期 | 曜時限 | 火1 | 配当学年 | 2回生以上 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得し、博物館の教育機能に関する基礎的能力を養う。

**[到達目標]**

博物館における教育活動についての基礎的知識を習得し、学芸員としてそれを博物館での教育活動に実践的に応用できる能力を養う。教科書の内容を十分に理解することを目指す.

**[授業計画と内容]**

以下の内容について教科書を使って学びます．進み具合により，内容が前後することがあります.
第1回　授業のガイダンス、博物館教育論とは何か
第2回　学びの意義
第3回　博物館教育の意義と理念
第4回　コミュニケーションとしての博物館教育
　　博物館教育の双方向性、博物館諸機能の教育的意義
第5回　博物館教育の意義
第6回　生涯学習の場としての博物館、人材養成の場としての博物館
　　地域における博物館の教育機能、博物館リテラシーの涵養等
第7回　博物館教育の方針と評価
第8回　博物館の利用と学び
第9回　博物館の利用実態と利用者の博物館体験
第10回　博物館における学びの特性
第11回　博物館教育の実際
第12回　博物館教育活動の手法（館内、館外）
第13回　博物館教育活動の企画と実施
第14回　博物館と学校教育（博物館と学習指導要領を含む）
期末試験　学習到達度の評価
第15回　フィードバック　実施方法については講義の中で説明する。

**[履修要件]**

学芸員資格の取得を希望する者。

**[成績評価の方法・観点]**

平常点および定期試験を比率2:8で採点する。
平常点は授業の参加状況のほか，毎回の小レポート課題（PandAを使い，授業3日後が締切）

博物館教育論(2)へ続く↓↓↓

**博物館教育論(2)**

**[教科書]**

黒沢浩 『博物館教育論』（講談社）ISBN:978-4-06-156542-5

**[参考書等]**

**（参考書）**
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

授業中に指示する。博物館を自主的に訪れることにより講義の内容をより深く理解することが推奨される。

**[その他（オフィスアワー等）]**